

# つながる富山、共創の未来 ~エリアリノベーションで描く新たな100年~

<提言概要>

## I 現状と課題

### 富山県の課題

課題解決に向けた取組みは待ったなし

#### 人口減少

少子化、女性・若年層の転出超過  
県都である富山市の人口も減少

#### 自然災害に対するまちの脆弱性

能登半島地震で甚大な被害

### 県都中心市街地の課題

「神通川旧河道エリア」のポテンシャルを活かせていない

#### 県庁周辺エリアによる南北の分断

官庁街で経済活動や休日・日中の人流が少ない  
実働するエリアマネジメント組織がない

#### 県有地の有効活用が不十分

長らく十分な投資がなされていない

### 変化の兆し

産学官民がそれぞれ危機感を持ち、県都の再生に向けて取組みを開始

県	県庁周辺エリアの再生に向けた検討開始	経済界	市街地再開発事業やスポーツを核としたまちづくりの動き
産学官	県庁周辺エリア未来ビジョンの取りまとめに向けた対話の場が設置	市	都市計画マスタープランを改訂中

今こそ、これから100年先を見据え、産学官民が一致団結してまちづくりに取り組むべき

## II 調査・検討

### 事例調査

広島	都心部の再開発と中山間地との連携 産学官民の連携を図るプラットフォーム	松山	歩行者空間・自転車インフラの整備 公民学連携まちづくり組織	大阪	地域の課題解決・グローバルな発展に貢献する民間企業主導の共創施設	福井	官官連携・官民連携によるビジョンの策定 具体的な事業を展開するまちづくり会社
----	----------------------------------------	----	----------------------------------	----	----------------------------------	----	-------------------------------------------

### 事例調査の学び

#### 広域的な都市への視点

総合的かつ広域的な都市への視点を持ちつつ、「鉄軌道王国とやま」のポテンシャルを最大限活用

#### 特定のエリアへの視点

公益性と経済性を兼ね備えた都市整備の種地となりうる神通川旧河道エリアの県有地に着目し、具体的ビジョンを構築・見える化し、共有、意思統一を図る

#### 具体事業の創出

ビジョンや計画に基づき  
具体事業を立ち上げ実現することが肝要

#### 産学官民および官官の連携

産学官民が連携してまちづくりに取り組むべき  
県と市の強固な協力体制の構築が不可欠

## III 提言

旧河道エリアを若者で賑わう共創の空間へ！官官／産学官民が連携した能動的な組織立ち上げを！！

### 【エリアリノベーションの実装】

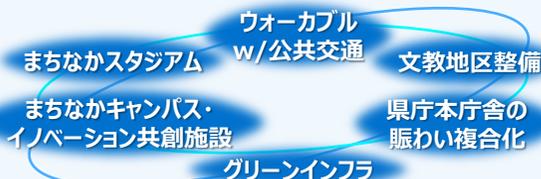
#### 提言① 旧河道のエリアリノベーション

駅周辺エリアと商店街エリアを結ぶ南北軸を分断している東西軸の「旧河道エリア」を百数十年ぶりにリノベーションすることで、再び県都に都市レベルでプラスのインパクトを与えるべき



#### 提言② 暮らし・憩い・楽しみ・学び

100年先を見据え、豊かな暮らしを形作る「憩い」と「楽しみ」、そして「学び」の空間や場づくりを主目的とすべき



### 【エリアマネジメントの促進】

#### 提言③ 産学官民による持続的なエリアマネジメント

産学官民がエリア未来ビジョンを共有、しかるべき組織を形成のうえ、経済性と公益性の両立を志向する真に持続的な「まちの運営と経営」を図るべき



#### 提言④ とやま愛を醸成し、まちづくりを主体的に担うプレイヤーを育てる事業とプロセス

“とやま愛”を醸成し、まちづくりを主体的に担うプレイヤーを増やし育て、多様な主体が“つながり”、価値を“共に創り”出し高めあう、人流創造の生態系（エコシステム）を形成すべき

- 小規模事業を同時多発的に創出
- 民間主導の「公民連携」を基本
- 若者・地域住民など多様な主体の参画を促進
- 県外・国外に開かれたパートナーシップを構築

### 【県都から県全域への展開】

#### 提言⑤ 全県的なコンパクト+ネットワーク戦略

富山県は各市町村とワンチームとなり、全県的な「コンパクト+ネットワーク戦略」を推し進めることが期待され、地元経済界や大学等は全面的に協力すべき

